

デジタル形分路リアクトル保護継電装置

Digital Type Shunt Reactor Protection Relaying Equipment

近年、電力設備の制御・保護分野では、従来のアナログ装置に代わって、デジタル技術の採用により、高性能化、小形化、保守の簡素化、及び高信頼度化を図ったデジタル形装置の適用が進んでいる。

本継電装置は、77kV以下の系統に設置する分路リアクトルの保護用デジタル形保護継電装置であり、中部電力㈱殿の形式試験に合格したので、その概要を紹介する。

特長

- ① 保護機能は短絡保護、地絡保護、不足電圧保護及び地絡試開放機能を持っている。
- ② プログラム制御はタイムスケジュールに従ってプログラム運転ができるとともに、平日・休日のプログラム制御切換も可能である。
- ③ 電圧要素切替は、甲・乙母線の両VT電圧を入力し、切替ソフト処理により、リレー演算を実施するソフト43P切替回路を使用している。
- ④ 装置内表示は装置、リレー要素の状態表示、軽故障表示を行うとともに外部引出接点も用意している。
- ⑤ 自動監視機能はアナログ入力部から出力補助リレーまでのハード全体を対象として、常時監視、自動点検を行っている。
- ⑥ 盤幅は350mmで2台のユニット形デジタルリレーを装架し、従来の裏面補助盤は使用せず、コンパクト化されている。
- ⑦ リレーの整定及びタイムスケジュールのプログラム整定が容易に行える整定パネルにより、操作性が向上している。



■主な仕様

装置方式		I ₂ -ShR-D
保護方式	内部	Pr
	短絡	HOC, OC
	地絡	OCG
	地絡試開放	OVG-T
	不足電圧	UV
外形寸法	幅	350mm
	奥行	450mm
	高さ	2300mm